



たまき 社協だより

2023.5 No.86

編集・発行 社会福祉法人 玉城町社会福祉協議会
〒519-0433 玉城町勝田4876番地1
TEL0596-58-6915 / FAX0596-58-6916
ホームページ <http://tamasya.or.jp/>
E-mail tamasya@amigo2.ne.jp

玉城町社協理念 ～笑顔広がる 人づくり 地域づくり つながりづくりの実現に向けて～



会長表彰

第21回 玉城町社会福祉大会

社会福祉の向上に貢献された方々の表彰、福祉の作文・標語の表彰発表や、福祉協力校の活動発表など、広く町民の方々へ福祉の啓発を行うことを目的とする社会福祉大会を令和5年2月11日（土）、玉城町保健福祉会館ふれあいホールで開催しました。

第2部には、河田フエザー株式会社SDGS推進室 室長黒田 健氏をお招きし、「地域と取り組む地域貢献活動・SDGS!!」をテーマにご講演いただきました。福祉の標語は「あなたの大切な人」をテーマに募集しました。

福祉の標語は応募総数800点を超え、入選した標語は6ページに掲載しています。

なお、福祉協力校の発表等の大会の様子はYouTubeで配信中ですので、是非ご覧ください。玉城町社協もYouTubeチャンネル登録をお願いいたします。

令和5年度 社会福祉法人 玉城町社会福祉協議会 事業計画

理念 「笑顔広がる 人づくり 地域づくり つながりづくり」の実現に向けて

事業方針

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、地域福祉活動は多大な影響を受けることとなり参加型、対面型の活動や住民を対象とした事業の実施が困難となりました。

このような状況のもと、世代間交流を手紙によるものに変えたり、可能な地域で出張ケア会議や話し合いの場を作ったり、新たな取り組みへの機会が生まれました。これを機に、令和2年にスタートした5か年計画、「第3期地域ふくし力向上計画」を中間となる4年度において策定母体となる「元気ですたまき委員会」で改訂し、今後も地域で生活するすべての人と人が関わり、つながることができる仕組みづくりを進めてまいります。

介護・障がい者支援事業においては、同様にコロナウイルス感染症の感染拡大により利用控えがある中でも安心してご利用いただけるよう、引き続き感染対策を徹底して社会的な責務を果たしていきます。また、あわせて町地域共生室の支援体制に専門職をアウトさせ必要な支援ができる

ようバックアップをしていきます。本会としては、地域福祉を推進する中核的な組織として、行政ならびに関係機関との連携を強化し、新たな地域共生社会の実現に向け、住民主体の地域福祉活動を推進してまいります。

重点項目

1. 法人運営
2. 地域福祉事業の推進
3. 相談・援助事業の推進
4. 受託事業の運営
5. 募金活動の推進
6. 在宅福祉事業の運営
7. 地域住民からのニーズ事業の実施

事業実施項目

1. 法人運営
 - ①法人運営の経営体制の強化を図ります。
 - ②会員制度の推進並びに会費の増強を図ります。
- ③社会福祉協議会の役割や活動を周知し、福祉活動への町民参加を促進する広報活動の強化を図ります。
- ④役員・職員の資質向上のため研修に取り組みます。

⑤各種関係機関・団体との連携強化を図ります。

2. 地域福祉事業の推進

- ①〈老人福祉活動事業〉
- ・身近な地域で福祉サービスを受受できる地域づくりを進めます。
 - ・サロン事業（高齢者サロンの支援と推進）
 - ・安否確認（ほのぼの便、歳末援助事業（まごころ訪問））
 - ・お風呂サロンの開催
 - ・独居高齢者支援事業ぴんの会の開催
 - ・給食サービス（第1,3日曜）、配食サービス（第2,4,5日曜）の実施
 - ・安心配達事業の実施
 - ・楽笑会の開催（手紙での世代間交流）
 - ・ちよこつと有償ボランティアの充実
- ②〈福祉育成・援助活動事業〉
- ・積極的に社会参加できる環境づくりに努め地域福祉事業を強化します。
 - ・元気ですたまき委員会の運営
 - ・第3期地域ふくし力向上計画の周知・啓発、民生委員・福祉協

力員との意見交換、あいさつ運動（明るく声かけ玉城の日）、あいさつ人及びあいさつ場所の拡充、地域福祉座談会の開催、元気ですたまき体操の推進（オリジナル健康体操）

- ③ボランティア活動育成事業
 - ・ボランティア活動を養成し、登録者の拡充と活動を支援します。
 - ・ボランティアセンター活動の充実
 - ボランティア講座を開催し、意識の啓発、情報の提供
 - ・防災ボランティア、災害ボランティアの養成と災害ネットワーク支援事業の展開
 - ・わが町クリーンアップの活動
 - 町内の全学校を福祉協力校に指定し、児童生徒の福祉意識の高揚と活動への積極的な参加促進を図ります。

- ④障がい児・者福祉活動事業
 - ・児童生徒の福祉参画を促進
 - ・障がい児（児）の自立と社会参加

を促進し、みんなの理解を深め交流の輪を広めます。

- ・たまリンピック
- ・手話うちカフェ
- ・シッパスハーモニー&はっぴいの開催

3. 相談・援助事業の推進

- ①福祉相談機能の充実強化を図り、関係機関との連携のもとに問題解決に努めます。
- ②生活福祉資金及び世帯更生資金の有効活用を図り、低所得者世帯の生活安定と福祉向上に努めます。
- ③日常生活を営むのに支障がある方に対し、福祉サービスの利用に関する相談・助言や、手続き・支払い等の援助を行います。

- ・日常生活自立支援事業
- ・生活困窮者自立支援事業（事業主体：県社協）

4. 受託事業の運営

- ①高齢者福祉、青少年の育成、その他公共的活動の移動手段としたバス運行を行います。
 - ②住民の外出支援のためのバス運行を行います。（オンデマンド方式による元気バスの運行）
 - ③各種福祉団体事業の運営を行います。
- ・民生委員児童委員協議会の運営

・老人クラブ連合会、町身体障害者福祉会、手をつなぐ親の会、町母子寡婦福祉会、町遺族会の5団体

- ④高齢者等交通安全対策事業（免許返納手続の支援）
- ⑤生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター事業）
- ・元気づくり会、老人会等への訪問
- ・地域ケア会議への参画
- ・居場所部会の企画、運営

5. 各種募金活動の推進

- ①日本赤十字社募金の積極的協力、地域福祉活動の財源確保に努めます。
- ・日赤募金（5月）
- ②共同募金活動を積極的に、地域福祉活動の財源確保に努めます。
- ・共同募金委員会運営
- ・共同募金（10月）
- ・歳末助け合い募金（12月）
- ・UMOUPプロジェクト
- ・三重の赤い羽根共同募金百貨店プロジェクト
- ③災害義援金への協力・活動を行います。
- ・チャリティ募金活動

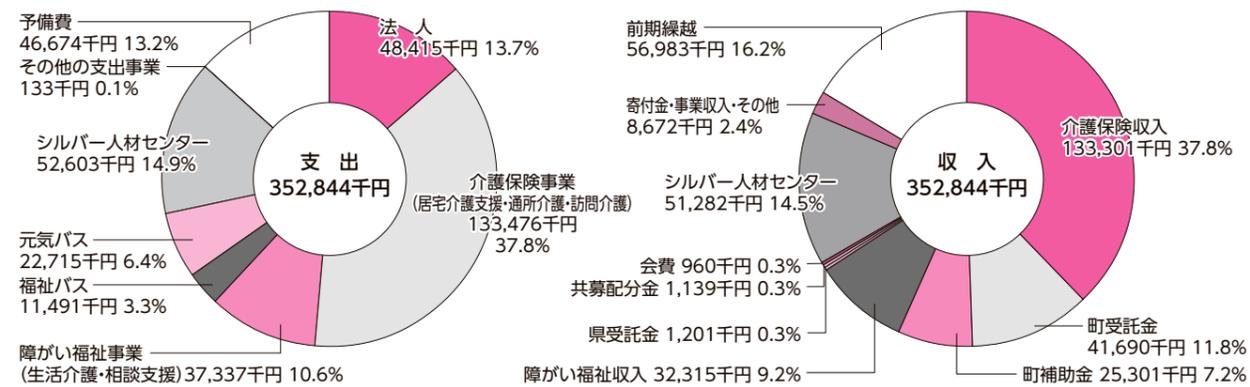
6. 在宅福祉事業の運営

- ①介護保険サービス提供体制の充実強化を図るとともに、職員の

7. ニーズ事業の実施

- ①地域住民のさまざまなニーズに対し、開拓性、創造性、即応性をもった事業を行います。
- ・シルバー人材センター事業の運営
- ②障害者総合支援法に基づくサービス提供体制の充実強化を図るとともに、職員の資質向上に努め、良質で安定した障害者サービスの提供を行います。
- ・生活介護事業（夢工房たまき）
- ・相談支援事業（みらい）
- ・居宅介護事業（ホームヘルプサービス）
- ・移動支援事業（ホームヘルプサービス）
- ③安全安心な移送サービスを提供します。
- ・福祉有償運送事業

令和5年度 玉城町社会福祉協議会収支予算



令和5年度 玉城町ボランティアセンター登録団体

悠ゆう塾サポーター

介護予防事業 悠ゆう塾のサポーター活動を行っています。会場の準備や受付、参加者への声かけなど、さまざまなサポートでみんな元気に。

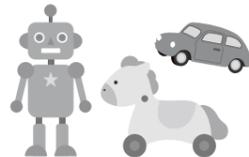
マジックふらわぁ

簡単で楽しいマジックです。福祉施設、老人会、児童館、お祭り等で演技しています。いつでも、どこへでも「マジックの出前」をしま〜す。気軽にご連絡ください。特に準備していただく事はありません。



玉城町おもちゃ病院

壊れたおもちゃを修理して、子どもたちに喜んでもらうと同時に、壊れても直せば使えることを知ってもらい、物を大切にすることを伝えていきます。



参宮ブランド 擬革紙の会

2009年、玉城町で生まれた擬革紙の会・型紙の間に紙を挟み、棒に巻き付け、踏みしめる。それを万力で絞ると、型紙の筋が紙にくっきりと現れる。その感動が忘れられず活動を続けています。会員募集中！

玉城語り部会

玉城町を訪れる人々に対して、町の財産である田丸城や熊野街道を案内しています。玉城町の魅力を発信する活動を一緒にしませんか。

玉城町防災ボランティア

私たち「玉城町防災ボランティア」は小・中学校や町民の方々を対象に、行政と一体となり、防災体験やタウンウォッチング、避難所運営ゲーム、防災倉庫の説明等の活動を行っています。これからもチーム一丸となって、防災・減災活動に取り組んでいきます。



絵手紙サークル ゆずりは会

現在11名の会員で季節の花、野菜、歳時記等をテーマに描いた絵手紙を、毎月約100枚作成し、各地区の民生委員の方を介して、お一人暮らし高齢者の希望される方に届けています。これからも、「喜び」や「元気」が伝わる絵手紙作りに努めていきます。

なお、会員募集中ですので興味のある方はご連絡ください。



玉城町虹の会

平成4年『虹の会』発足以来
 ・給食サービス (第1, 第3日曜日)
 ・各クリーンアップ作戦などの参加
 ・介護予防事業 (健康体操) のサポート
 ・夢工房のお手伝い
 等ボランティア精神に基づいた活動を30年行っています。会員募集中です。ご協力お願いいたします。



はな♪はな♪おはなし会

玉城町の子どもたちの豊かな心の成長を願って、乳幼児から小学生までを対象に、絵本と紙芝居の読み語りをしています。読み手仲間も随時募集中です。

サポーターさくら

認知症サポーター養成講座(キッズも含む)の開催、高齢者見守り声かけ訓練、介護事業所のイベントのお手伝い、たまきのつどい場「協」や、介護予防事業「らくらく健脳教室」への参加、協力。

認知症の人や家族への個別支援、さくら小劇場で認知症の人への接し方の寸劇をケーブルテレビで放送中。

[活動日時・場所]
 毎週火・木曜日 9時～12時
 たまきのつどい場「協」
 毎週金曜日 10時～12時
 介護予防事業「らくらく健脳教室」
 保健福祉会館
 [会員数] 87名(うち男性12名)
 10歳代～80歳代

[連絡先]
 サポーターさくら事務局
 (合同会社たまきあい)
 TEL58-2251



青色回転灯ボランティアパトロール

青色回転灯ボランティアパトロールとは？

「安心して暮らせる町」を目指すために、ボランティアの方々によって構成されています。

活動内容は、月、金曜の午後、町の青色回転灯装着車両に乗車し、町内を犯罪抑止・防犯活動パトロールをしています。

玉城町食生活改善推進協議会

私達、食育アドバイザーは、子どもから高齢者までが健全な食生活を実践することのできる健康で質の高い社会を目指し、幅広く食育活動を提供するとともに、地産地消の推進と郷土料理の継承に取り組めます。「わクラブ」体操を月4回行い、心と体を健やかにしています。ストレッチもしています。人と人のつながりを広げる場になります。



玉城町には地域福祉を推進していくボランティア団体がたくさんあります。それぞれの団体は、それぞれの目的をもって活動していますが、地域ふくし力向上のために、強い絆でつながって活動しています。興味を持たれた方はぜひ活動にご参加ください。連絡先記載の団体は直接ご連絡いただくと、ボランティアセンターにご連絡いただければ、各団体へおつなぎ致します。

ボランティアセンター (TEL58-9915)

健康しあわせ委員会

玉城町のみなさんが健康でいきいき生活していただけるよう、検診の受診啓発やウォーキングイベントの計画実施、スクエアステップ会の開催、各自治区での健康づくり活動の開催などを行っています。今年度は、フレイル(虚弱)予防にも取り組んでいきます！一緒に健康づくりに取り組みませんか？

委員は随時募集中です。

[会員数] 41名



テーマ 「あなたの大切な人」

元気ですたまき委員会では、みんなが安心して元気に生活できる町づくりを目指しています。そこでみんなが元気になるような「福祉の標語」を、青少年を育てる会、健康しあわせ委員会と共同して、子どもから大人まで広く募集をしました。応募総数862通の中からそれぞれ小学生の部、中学生の部、大人の部に分けて審査し、選ばれた作品は以下のとおりです。

- ※元気ですたまき委員会とは…
社会福祉協議会が設置する地域福祉を推進する委員会です。
※健康しあわせ委員会とは…
保健福祉課が設置する町民への健康づくりを啓発する委員会です。
※青少年を育てる会とは…
次代の郷土を担う青少年の健全育成を図ることを目的とする団体です。

大賞 (敬称略)

困難な時 思い出すのは あなたの瞳
大人の部 杉木 愛梨
厳しいとき、心の支えになるのは大切な人です。
中学生の部 西山 昇吾 (玉城中3年)
いつも、毎朝早く起きて、あいさつをしてくれているパトロール員さんに感謝を込めました。
小学生の部 松尾 太楓 (下外城田小5年)
学校で、クラスのみんなが忘れ物をしなかったら、席がえができたけれど、ぼくが忘れてしまって、みんな席がえができなくて、つらかったとき、友達やみんなが優しくはげましてくれたことをこの標語にこめた。

元気ですたまき委員会賞 (敬称略)

ただいまどいいう声きける 幸せよ
大人の部 高橋 勝利
日常生活の何げない挨拶の音が聴けるのは、大切な家族の存在があつてのことであり 感謝の思い。
中学生の部 辻 穂希 (玉城中3年)
おばあちゃんの家に親せきが集まり、みんなで楽しくご飯を食べる日がずっと続いてほしい…。
小学生の部 村木 嵩虎 (田丸小3年)
マスクをつけていても友だち 家族 表情が分からなくても目と目で行動が通じ合う。

青少年を育てる会賞 (敬称略)

ありがとう 笑顔咲かせる 合言葉
大人の部 中西 美月
感謝はその場で伝えたいものです。伝えた人も伝えられた人も笑顔になります。
中学生の部 西岡 誠大 (玉城中2年)
大切な両親、長生きして元気にくらししてください。
小学生の部 渡辺 晃太 (田丸小6年)
僕の大切な人と思うのかべた時に、真っ先に家族が浮かびました。そんな大切な人たちのために僕ができることは、今、そしてこれからを精一杯生きることだと思えます。

健康しあわせ委員会賞 (敬称略)

家族と友人、私の生活に無くてはならない大切な人
大人の部 川井 弘美
やさしい夫、息子二人、嫁二人、孫二人がいて生きがい、良い友人にも恵まれ、おしゃべり、食事、体操と共にするのが楽しい。
中学生の部 原田 一史 (玉城中2年)
人を大切にしなければいけないから。
小学生の部 大西 玲耶 (有田小1年)
赤ちゃんのころからじいちゃんっ子でじいじが大好き。大泣きしていてもじいじがだっこすると泣きやんだり、かぜをひいても、おでこにたっちをししたらきもちがやわらいだりと、じいじの手には「まほうの力」があるみたい。

楽笑会 in 下外城田小学校 地域で楽しく笑顔の交流会

お一人暮らしの高齢者を対象に、世代間交流として開催しています。2月22日、下外城田小学校3年生19名が高齢者を出迎えてくれました。子どもたちによる歓迎の出し物「まんじゅうこわい」から始まり、お手玉やこま、けん玉、あやとりなどのコーナーを子どもたちが用意し、高齢者の方々と交流を楽しみました。



お手玉を楽しむ みなさん

防災ボランティア みえの防災特別賞を受賞

町内で長きにわたり自発的に防災減災に係る啓発活動を行っている防災ボランティアが「みえの防災特別賞」を受賞し3月16日、町長へ表敬訪問を行いました。



町長への表敬訪問

防災ボランティアは、小学校で卵の殻踏み体験などの防災体験やタウンウォッチング、中学生には三重大学の川口准教授を招いた防災講座、町主催の避難所運営ワークショップや避難訓練への参加などを展開しています。最近では、玉城町版避難所運営ゲームを作成し、小学生だけでなく住民に対しての防災意識向上に努めています。

技術系ボランティア養成講座

災害時の「技術を伴う支援」のできる人材を増やしていくとともに、関係者間のネットワークの構築・強化を図ることを目的に3月5日、技術系ボランティア養成講座を行いました。



養生シート貼り体験

講師には災害ボランティア愛・知人の赤池博美氏をお招きし、床下作業前の養生の必要性、床板のはがし方、泥出しの水抜きの手順、床下洗浄時の乾燥・消毒方法などを学びました。町外からの参加もあり、参加者からは自分の地区は水害にあつたことがなかったの知らないことが多いと、普段行っているDIYの道具や知識が役立つそうなので自分できるところはなんとかしたいという意見がありました。

あつまれ！ボランティア

地域で活動するボランティア同士が、それぞれの団体で抱えている課題等について意見交換することにより、ボランティア団体間のネットワークづくりや自らの活動のヒントを発見することを目的に2月24日、交流会を開催しました。



グループワークの様子

交流会は元気ですたまき体操から始まり、各団体の活動発表、グループワークを行いました。メンバーの高齢化はどの団体も抱えている課題で、ボランティア団体同士の横のつながりが大切だと感じる交流会でした。団体同士がつながり続けられるよう今後も交流会を継続していく予定です。

元気ですたまきまつり

～ 新しいたまきの和 ふくしの輪 ～

日時／令和5年6月4日(日)
10:00～14:00
(雨天決行)

場所／玉城町保健福祉会館

3年振りに、福祉のイベントとして地域の方々に楽しく、また身近に福祉・ボランティアの大切さを感じていただくことを目的に開催します。

- ・福祉施設・ボランティアの活動啓発
- ・地域でのさまざまな活動のPR
- ・スタンプラリー ほか



元気バス・福祉バス



運行変更のお知らせ

(いずれも4月1日から)

- ・元気バス
「スーパーサンシ明和店」に待合所を設置
- ・福祉バス
平日 週2便(月・木曜日)のみ運行

令和5年度 社協会費にご理解・ご協力を

社協が取り組む地域福祉活動には、高齢者・障がい児者支援・ボランティア支援などがあります。その活動を支える貴重な運営資金のひとつが、皆さまからいただく「会費」となっています。主に小中学校で行う福祉の取り組みを行っている「福祉協力校の活動費」に充てられています。

安定した財源確保のため、福祉活動にご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。会費の受付は、社協窓口にて行っております。

会費の区分	年額(1口)
個人会員	300円
団体会員 (福祉施設及び団体、企業等)	5,000円
賛助会員 (一定額以上の会費納入者)	10,000円

玉城町社会福祉協議会では、各自治区などの催しに活用いただく物品の貸し出しを行っています。貸し出しは原則自治区や団体を対象とします。

但し、団体会員となっていない場合には、1回会費2口(600円)以上の利用料が必要となります。貸し出し品目は以下のとおりです。

- ・簡易テント(3m×3m)
- ・大鍋
- ・屋内用低床折りたたみイス
- ・綿菓子機
- ・発電機(1500w、900w)
- ・ポップコーン機
- ・ブルーシート
- ・かき氷機
- ・折り畳み式リヤカー
- ・フライヤー
- ・一輪車
- ・タコ焼き機
- ・高圧洗浄機
- ・ビンゴゲーム
- ・送風機
- ・ストラックアウト

※詳しくはお問合せください。

ご寄附ありがとうございました。(1月～3月)

阪井昌子様	10,000円
山本二三子様	20,000円
元気バス募金箱	95,613円

身近な社協の相談窓口ご案内

なんでも相談(予約不要)

【日時】毎月10日、30日 13:00～15:00

【場所】玉城町保健福祉会館にて

【相談員】民生児童委員、人権擁護委員、行政相談員

玉城町社会福祉協議会の情報を発信中!!

ホームページ

YouTubeチャンネル

フェイスブック

